



熊本市立 大江小学校

ときめき

2024.6.21 (金)

No. 49



文責
松永

自分のいのち・安全は自分で守ることが大事です！

交通事故の報道は後を絶ちません。子どもたちもその被害者になることがあります、胸が痛くなります。朝の時間、交通指導に回っていてもヒヤッとする場面はあります。信号が赤に変わろうとするタイミングでもスピードを緩めない車がいたり、交通ルールを守らない車や自転車がいたりします。1年生も入学して時間がたち少し油断が出る頃かもしれません。特に下校時は、広がって歩いたり遊びながら帰ったりしている子どももいるようです。5月には、熊本市生活安全課からおいでいただいて「交通教室」が行われました。そこで学んだことを忘れずに、そしていかしながら自分のいのち・安全を守るようにしてほしいと思います。何かあってからでは間に合いません。悔やんでも悔やみきれません。子どもたちの登下校時や休日など、もしも危ない場面を目にされた時には、その場で声をかけてあげていただけると助かります。



1年生「交通教室」の学習より

はじめにビデオを見せてもらいました。その内容をおさえる意味で、大きな場面絵を使って説明されました。歩道を一列になって歩くこと、道路を横断する時には「右・左・右」を見て安全を確認してから渡ること、



信号が変わったからといってすぐに飛び出さないこと、横断歩道



に立つ位置も考えること（車に巻き込まれないように）といった点などを、車や歩

行者のパーツを動かしながらていねいに話していただきました。続いて、体育館に設営されたブロック塀、

横断歩道や信号機を活用して、実際に動きを入れながら安全を確認していきました。

ブロック塀があるような見通しの悪い交差点から歩道に出る時にどうすればいいか…

信号が青に変わったからの横断歩道の渡り方もやってみました。話を聞いてわかった

つもりでも、実際にやってみるとスムーズにいかない子もいました。大

江校区では、交通指導に立ったり

青パトで回りながら子どもたちの安全確保のお手伝いをしてくださっています。ありがとうございます。

